

一般助成(障がいを持つ子どもたちや孤立する高齢者に対する支援)

「知的・発達障がい児の為の就労支援プロジェクト Ocean's Love工房&LOKAHI畑」事業

誰もが自分の意思で働くことにチャレンジできる ノーマライゼーション社会の実現を目指す

障がい児の可能性を見出し、支える側は障がい児一人一人のニーズに合わせた働き方を考える。やってみなくてはわからないことがたくさんあるのに、本人も、家族も、学校などの関係機関も、最初から無理だと思い込んでいることに疑問を感じ、子どもたちの可能性を見出し、働く選択肢を広げるための活動に取り組んでいる。



学校の実習以外の選択肢を広げるために様々な仕事を体験



就労支援プロジェクトの一環として子どもたちが体験した畑作業

障がいを持つ子どもたちが学校での 実習以外に就業の選択肢を広げる試み

神奈川県茅ヶ崎市に拠点を置くNPO法人「Ocean's Love」は、障がいのある児童を含む一般市民に対してサーフィンなどに関する指導を行いながら、障がいのある子どもも一般市民も一緒に楽しむ場を創出する活動や、障がいのある児童に関する啓発活動や情報提供を通じて子どもの心身の健全な育成、就労支援、さらに自由で平等な地域社会の実現に寄与することを目的に活動を続けている。

同法人では、運営するサーフィンスクールに参加していた障がいを持つ子どもたちが社会に出てからどのように働いているのか確認したところ、軽度の障がいの子は働くことにつまずいて引きこもったり、あきらめたり、すべてにおいてやる気を失ってしまったりするケースが多いことを知っ

た。また、重い障がいがある子どもは、地域の作業所などがこしかないうちからという理由で楽しくなくても毎日通っているうちに、笑うことを忘れてしまったかのように無表情になる子どもがいる現実を知った。

障がいを持つ子どもは環境に慣れるまで時間がかかるため、早くから実際に体験することを求められるが、そもそも学校の実習では多くの職種を経験することができず、選択肢が少ない。そこで同法人では、障がい者だからこれしかできないという考え方ではなく、障がい者でもこんなことができるという考えのもと、障がいを持つ子どもたちに様々な体験の機会を提供することで、学校の実習以外の選択肢を広げる事業に取り組むことにした。

社会に出る前の準備期間として プリントや農作業などを体験する

事業は障がいを持つ子どもが社会に出る前の準備期間として、同法人が運営するOcean's Love工房での作業を通じてスキルトレーニングとライフスキルトレーニングを受け、どうすれば楽しく働くことができるのか、どうすればつらいことも乗り越えられるのか、働いているときは何をしなくてはいけないのか、できないときはどうやって支援を求める行動を取ったらいいのかなどを身につけることを目的とした。

具体的な活動内容としては、2021年9月～2022年3月にかけて、①Tシャツ・エコバックプリント(実施回数4回、参加人数25名):Tシャツやエコバッグにロゴをプリントする練習、②タイダイ染(3回、3名):前半はTシャツやエコ

バックで染めの練習をし、後半は法人の販売事業の福袋のノベルティーやご挨拶用のエコバックの染め作業、③白磁食器ペイント(3回、10名):前半は皿に指や筆で虹をペイントし色の使い方や感覚の練習、後半は小さい陶器に指定した色を使いながら自由にペイント、④LOKAHI畑(21回、4名):週末、担当の子どもと親御さんによる畑の世話。できる子は採れた野菜で料理などもした。

「重度障がい児も軽度障がい児も一緒に作業を行ったのですが、軽度の子どもたちは重度の子どもたちの作業時間が長くなっても文句一つ言わず待ってくれました。また、重度の子どもたちは軽度の子どもたちと同じ作業ができることに喜びを感じているのが伝わってきました。コロナ禍ではありましたが、継続的な活動ができたことは嬉しい限りです」と、同法人では事業の印象を語ってくれた。



Tシャツプリント作業や白磁食器ペイントなど様々な仕事を体験



助成団体:特定非営利活動法人 Ocean's Love

<http://www.oceanslove.com>



一年を通して事業を実施でき、忘れられない一年になりました

コロナ禍でスタートは遅れましたが、何とか予定していた事業を行うことができ、子どもたちの経験と私どもの経験、両者の経験値が上がったと感じています。昨年度、事業を実施できたことで、今後どのように計画し、実施していくのか、協力体制も含め具体的に明確になりました。貴重な経験させていただけたことに心より感謝しております。

特定非営利活動法人 Ocean's Love
理事長 鈴木 薫さん